

国立成育医療研究センターでは下記の研究を実施しています

研究名： 骨肉腫への移植治療に関する検討

1. 研究の目的

骨肉腫は、思春期～青年期に好発する骨の悪性腫瘍です。治療の進歩により治癒率は向上してきているものの、診断時に転移がある・化学療法抵抗性・再発例など高リスク症例の予後は依然として厳しいのが現状です。予後不良症例に対する治療のひとつとして、自家造血細胞移植を併用した大量化学療法が試みられることがあります。その効果について定まった見解はありません。本研究は、本邦において骨肉腫に対して自家造血細胞移植が行われた症例を調査・解析し、骨肉腫への移植治療の意義を検討することを目的としています。特に、層別化因子として原発部位や診断時の肺転移の有無、移植理由（再発など）を考慮し、高リスク骨肉腫に対する移植治療の意義を検証します。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：日本造血細胞移植データセンター（JDHCT）/日本造血細胞移植学会（JSHCT）の実施する「造血細胞移植医療の全国調査」によって収集された移植登録情報のうち、1987年1月から2016年12月までの間に骨肉腫に対して自家移植が行われた方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2022年3月
- ③ 研究方法：対象者の診療施設に対して二次調査を実施します。二次調査票の送付・回収はJDHCTが行い、移植施設は調査票を記入してデータセンターに送付します。データセンターより国立成育医療研究センターへ二次調査票が送付され、国立成育医療研究センターで解析を行います。

3. 研究に用いる情報の種類

腫瘍原発部位や病期などの診療情報、匿名ID 等

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター
日本造血細胞移植データセンター
日本造血細胞移植学会

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2019年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 社会医学研究部 半谷まゆみ
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
電話：03-3416-0181（内線：4363）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 社会医学研究部 半谷まゆみ